

とにかく口に出してつぶやいてみよう！

「超現場主義
年号ゴロ合わせ77+ α 」

SS-1

Strategy of Success for Only 1

<http://www.ss-1.net/>

COPYRIGHT ©2016 SS-1. All Rights Reserved

「超現場主義 年号ゴロ合わせ77+α」

【使い方】

▶とにかく口に出してつぶやいてみましょう！

ゴロ合わせは目ではなく耳や口で覚えるものです。

覚えやすそうなゴロからどんどん覚えていきましょう。

【中学入試の勉強と年号の暗記について】

▶中学受験の入試問題で、年号そのものが問われることはほとんどありません。

しかし、年号を覚えていないと答えられない問題はあります。

さらに、年号を覚えていれば、より速く、より正確に答えられる問題はたくさんあります。

特に6年生になって「範囲が無いテスト」が増えると、年号をたくさん覚えている人とそうではない人の間に大きな差が出てきます。

【ゴロ合わせについて】

▶市販のゴロ合わせの本や、インターネットで検索して出てくるゴロ合わせの中には、「無理やり作ったゴロ合わせ」が含まれています。

そういったゴロ合わせは「ゴロを覚えること」自体が大変で、なかなかとっつきにくいものです。

この本には、「できるだけ短く、言いやすいゴロ」ばかりを集めました。

また、一部例外はありますが、できるだけ「内容に関係のあるゴロ」か「インパクトのあるゴロ」のどちらかに絞るよう努めました。

▶ゴロはあくまで年号を覚えるための手段、道具に過ぎません。

覚えにくいゴロを覚えるために一生懸命になる必要はありません。

覚えやすそうなゴロから覚えていきましょう。

ゴロの力を借りて、ある程度、知っている年号が増やしていけると、それ以外の年号も自然に頭に入っていくものです。

【解説について】

- ▶解説の中には、歴史を一通り勉強し終わっている人でないと、分かりにくいものもあるかもしれません。
したがって、5年生以下のお子さんは、無理に読む必要はありません。
逆に、6年生で、どうしても歴史で点が取れなくて困っているお子さんは、できるだけじっくり読んでみてください。
テストで点を取るための秘訣が散りばめられています。
- ▶覚えることが非常に多い受験生の中には、いろいろなキーワードを「読み方が分からないまま、漢字だけ」覚えてしまう人がいます。
解説の中のキーワードにはできるだけ読みがなをつけておきました。
覚えただけで、実はどう読めばいいのか分からない言葉がある場合は、積極的に確認してみてください。

57 後漢書東夷伝

57
金印が来ない

57年、九州地方の奴国の王が、(後)漢の皇帝から「漢委奴国王」という字が彫られた金印を送られました。日本の歴史で判明している一番古い年号です。間違えて「571年」と覚えないように注意してください。

239 魏志倭人伝

239
卑弥呼のふみくる魏志倭人伝

邪馬台国の女王卑弥呼が、魏の皇帝に使いを送った年です。昔の日本では「1、2、3、4、5、6……」を「ひ、ふ、み、よ、い、む……」と数える習慣があり、ゴロ合わせの「ふ」は2を指します。ちなみに「ふみ(文)」とは昔の言葉で「手紙」という意味です。(関連問題：知識編 53)

538 仏教伝来

538
百済の仏にご参拝(ごさんぱい)

分かりやすいゴロですが、**仏教伝来**(仏教公伝)については、538年の他に552年説もあるので、テスト対策としては「6世紀」と覚えておくだけでも大丈夫です。ちなみに**渡来人**によって**儒教**と漢字が伝えられたのは「5世紀」ですので、そちらとしっかりと区別して覚えておきましょう。(関連問題：思考編 35)

593 聖徳太子、推古天皇の摂政になる 聖徳太子はコックさん

603 冠位十二階

604 十七条の憲法

607 遣隋使、法隆寺建立の詔

聖徳太子はコックさんではありませんが、まずは593を無理やりにでも覚えましょう。

その後は順番だけ覚えておけばテストは乗り越えられることがほとんどです。

「冠位十二階」で選んだ新しい役人たちの心構えを示したものが「十七条の憲法」なので、「冠位十二階」は「十七条の憲法」よりも先、というところがポイントです。(関連問題：知識編 55、思考編 37)

645 大化の改新

645
蒸しこ飯（でお祝い、大化の改新）

お赤飯でも炊いてお祝いしているイメージでしょうか。

「大化の改新」とは、646年に出された「改新の詔」から始まる中大兄皇子による政治改革を指す言葉です。

645年は中大兄皇子が蘇我蝦夷、入鹿を殺害した「乙巳の変」の年ですが、「乙巳の変」という言葉は一般的に中学受験では扱われないので、ひとまず645年を「大化の改新」と覚えておきましょう。（関連問題：知識編56）

663 白村江の戦い

663
ろくろくみないで白村江

日本軍が朝鮮半島沖の白村江で、唐と新羅の連合軍に敗北した戦いです。

中大兄皇子（天智天皇）に関しては、「大化の改新」の645年と、この663年、そして次の「壬申の乱」672年の3つの年号を覚えておけば十分です。

ちなみに「白村江」は「白村江」と読んでも構いません。（関連問題：知識編57）

672 壬申の乱

672
無理な二人の壬申の乱

天智天皇（中大兄皇子）の弟と息子が、次の天皇の座を巡って争った乱です。

結果として弟の大海人皇子が勝利し、天武天皇となりました。

701 大宝律令

701
なおい国にと大宝律令

藤原不比等や刑部親王らの手によって「大宝律令」と呼ばれる法典集が作られた年です。

8世紀最初の年だと覚えておくだけでも大丈夫です。

710 平城京

710
なんと大きな平城京

元明天皇が都を奈良の平城京にうつした年です。

この年は年号だけ覚えるだけでは不十分です。

この710年から794年までの約80年間を「奈良時代」と呼ぶのだ、ということまでしっかりと覚えておきましょう。

723 三世一身法

723 743
「なにさ」「なしさ」と私財法

743 墾田永年私財法

この2つはセットで覚えましょう。

口分田くぶんでんの不足を解消するため、723年に、新たに開墾かいこんした田の私有しゆうを3代にわたって（孫まで）認める「三世一身法」が、743年には、新たに開墾した田の私有を永久に認める「墾田永年私財法」が出されました。

結果として、国ではなく貴族などが所有する土地が増えていき、天皇の権力は弱くなっていきました。（関連問題：思考編39）

794 平安京

794
なくよウグイス平安京

桓武天皇が都を京都の平安京にうつした年です。

ここから1185年までの約400年間を「平安時代」と呼びます。主に貴族の時代です。

ちなみにウグイスは「ホーホケキョ」と鳴く鳥です。（関連問題：思考編40）

894 遣唐使廃止

894
白紙に戻す遣唐使

菅原道真すがわらのみちざねの意見により遣唐使が廃止された年です。

630 894
「蒸される夜も吐く夜も」

と、遣唐使が始まった年とセットで覚える方法もあります。

長い船旅の途中で船酔いしているイメージですね。

1016 藤原道長ふじわらのみちなが

1016
十色(といろ)に輝くほ摂関政治せつかんせいじ

藤原道長が摂政になり、藤原氏による「摂関政治」が全盛期ぜんせいきを迎えたのが1016年です。

ちなみに道長が、有名な

「この世をば わが世とぞ思ふ 望月の 欠けたることも なしと思へば」

という和歌を詠んだのは1018年です。

中学入試では1000年頃（11世紀冒頭）と覚えておくだけでも十分です。（関連問題：知識編63、思考編43）

1086 院政開始いんせい

1086
とーちゃんやろー、院政開始

白河天皇しらかわが上皇じょうこうとして政治をする「院政」を始めた年です。

息子が天皇になっても、父親が権力をにぎり続けるので「とーちゃんやろー」です。（関連問題：知識編65）

1156 保元の乱ほうげん

1156
いいゴロ合わせは保元の乱、（6が）ひっくり返って（9になって）平治の乱

1159 平治の乱へいじ

上皇と天皇の権力争いに各地の武士が関わって戦乱になります。

最終的には「平治の乱」で平清盛たいらのきよもりが源義朝みなもとのよしともを倒して権力を握りました。

世の中全体が、「貴族」の時代から「武士」の時代に切り替わっていかうとしている時期です。

1167 平清盛が太政大臣だいじょうだいじんになる

1167
いい胸毛の太政大臣

権力をにぎった平清盛が、武士であったにも関わらず、貴族の最高位であった「太政大臣」の位についた年です。

ゴロに特に意味はありません、インパクト重視のゴロです。（関連問題：知識編66）

1185 壇ノ浦の戦い

1185
いいハコ作ろう壇ノ浦

ゴロ自体は意味不明ですが、有名な次の1192「いいくに」とセットで覚えてしまいましょう。
壇ノ浦の戦いで平家が滅びた年でもありますし、その直後、源頼朝が全国に守護と地頭を設置し、本格的な「武士の時代」、すなわち鎌倉時代が始まった年でもあります。(関連問題：思考編44)

1192 鎌倉幕府

1192
いいくに作ろう鎌倉幕府

源頼朝が武士の最高位である「征夷大將軍」の位につき、鎌倉に幕府を開いた年です。
ほとんどの日本人が知っている定番のゴロです。(関連問題：知識編67、思考編45)

1221 承久の乱

1 2 2 1
いちにーにーいち承久の乱

もはやゴロでもなんでもありませんが、経験上、覚えやすそうなのはコレです。

1 2 2 1
「人に不意討ち、承久の乱」

という有名なゴロもありますので、そちらの方が覚えやすければそちらを使って下さい。

鎌倉幕府を倒そうとした後鳥羽上皇はもちろん、その上皇の軍を迎え撃った「尼將軍」こと北条政子、そして鎌倉幕府の2代執権北条義時の名前も覚えておきたいところです。(関連問題：知識編68)

1232 御成敗式目

1 2 3 2
自由に見に來い御成敗

鎌倉幕府の3代執権北条泰時が、武士によって作られた初めての法律である「御成敗式目」を作った年です。
「見に來い」の「來い」の部分は「51」、御成敗式目は全部で51カ条あります。

1274 文永の役

1 274 81
ひとり船酔い、はい文弘

1281 弘安の役

8代執権北条時宗の時代、元の皇帝フビライ=ハンが2度にわたって日本に軍を送り、これを鎌倉幕府軍が迎え撃ちます。「元寇」です。
意味が分からないゴロではありますが、「文永の役」と「弘安の役」をセットで覚えられる便利なゴロです。
(関連問題：知識編 69、発展編 47)

1333 鎌倉幕府滅亡

1 3 3 3
いちみさんざん北条氏

1334 建武の新政

鎌倉幕府滅亡(1333)の翌年

1336 南北朝時代

建武の新政(1334)の2年後

1338 室町幕府

南北朝時代が始まった年(1336)の2年後

ここはストーリーで覚えるゾーンです。

まず、覚えやすい鎌倉幕府滅亡の年(1333)を覚えてしまいましょう。

鎌倉幕府が倒れたので、その翌年から後醍醐天皇が公家中心の政治「建武の新政」を始めます(1334)。

しかし、建武の新政は武士たちの反感を買い2年で終了。

足利尊氏に裏切られた後醍醐天皇は奈良の吉野に逃げます(1336 南北朝時代)。

その2年後、足利尊氏は征夷大将軍となり、京都に幕府を開きました(1338)。

(関連問題：知識編 71、発展編 48)

1392 南北朝合一

1 3 9 2
いざくにはひとつ、南北朝合一

室町幕府3代将軍足利義満が、吉野の南朝を廃止し、1336年から続いていた天皇が2人いる状態(南北朝時代)を終わらせます。

1428 正長の土一揆

1428
一緒にやろう、徳政一揆

室町時代、農村で「寄合」と呼ばれる会合が開かれるようになるにつれて、農民たちが「一揆」を結ぶようになっていきます。
「正長の土一揆」は、近江の馬借（運送業者）が中心となって、徳政（借金帳消し）を求めたところから広まっていった一揆です。
「土一揆」は「土一揆」と読んでも構いません。

ちなみに正長の土一揆とは関係ありませんが、この翌年、沖縄で「琉球王国」が誕生しています（1429）。
（関連問題：知識編 73）

1467 応仁の乱

1467
人の世むなし、応仁の乱

室町幕府8代将軍足利義政の跡継ぎ争いに、有力な守護大名同士の対立がからみ、京都で11年間にわたる戦乱が続きました。
室町幕府は滅びなかったものの、弱体化し、「戦国時代」を迎えることとなります。（関連問題：知識編 74）

1485 山城の国一揆

加賀の一向一揆（1488）の3年前

1488 加賀の一向一揆

1488
ひとよバンバン加賀の一向一揆

勢い重視のゴロです。15世紀の争乱については、年号を覚えるのが苦しければ、ひとまず、「正長・山城・加賀」に「応仁の乱」を加えて、「正長→応仁→山城→加賀」と、順番を覚えておければ、テストには対応できることが多いです。

「山城の国一揆」は、南山城（現在の京都南部）の地元の武士たちが、8年間、幕府の命令を聞かずに自治を行ったもの、
「加賀の一向一揆」は、加賀（現在の石川県）の一向宗（浄土真宗）の信徒たちが、幕府に任命された守護を倒し、約100年の間、自治を行ったものです。

1543 鉄砲伝来

1543
以後よみがえる種子島

ポルトガル人が種子島に来て、鉄砲（火縄銃）を伝えた「鉄砲伝来」の年です。

この鉄砲の威力に注目した日本人は、堺や根来、国友といった都市で鉄砲の量産を始め、戦争の仕方が大きく変わっていききました。
（関連問題：知識編 76）

1549 キリスト教伝来

1549
以後よく来たるキリシタン

スペイン人フランシスコ＝ザビエルが鹿児島に来て、日本にキリスト教を伝えた年です。
当時の日本では、キリスト教徒は「キリシタン」と呼ばれることが多かったようです。

1560 桶狭間の戦い

1560
今川イチコロおけ狭間

1560年、駿河の戦国大名今川義元の軍を、現在の愛知県西部、桶狭間で破ったところから織田信長の天下統一への挑戦が本格的に始まります。

1573 室町幕府滅亡

1573
いちごなみだの室町将軍

1573年、織田信長は、他の戦国大名とともに自分を倒そうとした室町幕府15代将軍足利義昭を京都から追放し、室町幕府を滅ぼしました。

1575 長篠の戦い

1575
人、こなこな、長篠の戦い

織田信長と徳川家康の連合軍が、現在の愛知県の東部で、武田勝頼を破った戦いです。
物騒なゴロですが、火縄銃が活躍した戦ということで覚えておきましょう。

武田氏を破った信長は、翌年、琵琶湖の東岸に安土城を建て始めます（1576）。（関連問題：知識編77）

1582 本能寺の変

1582
いちごパンツの本能寺

インパクト重視タイプの代表のようなゴロです。

この年は織田信長が明智光秀に倒されただけでなく、豊臣秀吉が、後に「太閤検地」と呼ばれることになる検地を本格的に進め始めた年としても覚えておく必要があります。（関連問題：知識編78）

1588 かたながりのれい
刀狩令

1 5 8 8
いちごバンバン刀狩

こちらも勢いで押し切るタイプのゴロです。

豊臣秀吉は 1588 年、百姓を農業に専念させるため、そして一揆をおこさせないようにするために百姓から武器を没収しました。

これにより、武士と百姓の身分が明確に分かれる「へいのうぶんり兵農分離」が進んでいきました。

ちなみに、この前年、秀吉は「バテレン追放令」を出して、キリスト教の宣教師を国外に追放しています（1587）。

1590 天下統一

1 5 9 0
戦国王、天下統一

1590 年、豊臣秀吉は、北条氏の小田原城を落とし、すべての戦国大名を服属させ、天下統一を成し遂げました。

ちなみに「戦国王」というキーワードは存在しませんので注意してください。

秀吉は 1585 年かんぱくに関白に、次いで 1586 年に太政大臣になり、その後、関白の地位を息子に譲った後は「太閤」と呼ばれました。

1592 ぶんろく
文禄の役

1 5 9 2 9 7
異国に苦難、文禄・慶長

1597 けいちょう
慶長の役

天下統一を成し遂げた豊臣秀吉は、その後、みん明の征服を考え、朝鮮半島に2度に渡って軍を送ります。

いずれの戦いも日本軍は苦戦し、1598 年、秀吉の病死によって撤退することになりました。

1592 年の「文禄の役」と 1597 年の「慶長の役」をセットで覚えておきましょう。

1600 せきがはら
関ヶ原の戦い

1 6 0 0
いちろくまるまる関ヶ原

1603 徳川幕府

関ヶ原の戦い（1600）の3年後

秀吉の死後、いしだみつなり石田三成率いる西軍ととくがわいえやす徳川家康率いる東軍が、現在の岐阜県の関ヶ原で衝突しました。

この「天下分け目の戦い」に勝った家康は、3年後、江戸に幕府を開きます。

1 6 0 0
「一路雄々しく関ヶ原」という有名なゴロもありますが、ゴロを覚えるよりも、1600 という覚えやすい数字そのものを覚えた方が早いかもしれません。（関連問題：知識編 79）

1615 大阪夏の陣、^{ぶけしよほつと}武家諸法度 ¹⁶¹⁵異論以後なし夏の陣

1603年に江戸幕府を開いた徳川家康は、2年後、将軍の地位を息子の^{ひでただ}秀忠に譲りますが、「大御所」^{おおごしよ}として実権を握り続けます。
1615年に大阪夏の陣で^{とよとみひでより}豊臣秀頼を倒し、同じ年、大名を統制するための「武家諸法度」を出し、徳川幕府の権力を強化した家康は、その翌年、75年の生涯を閉じます。
大阪夏の陣は、正確には「大坂」ですが、中学受験はひとまず「大阪（現在の漢字）」で良いことになっています。
後醍醐天皇の下で戦っていた頃の足利尊氏（正確には高氏）、幕末の函館（正確には箱館）なども同様です。

1637 ^{しまばらあまくさいつき}島原天草一揆 ¹⁶³⁷人は無残な天草一揆

1639 ポルトガル船来航禁止 島原天草一揆（1637）の2年後

1637年、3代将軍^{いえみつ}徳川家光の時代に、^{あまくさしろう}天草四郎を中心とした約3万人のキリシタンが九州で一揆を起こします。
これにより幕府のキリスト教徒への警戒心は高まり、2年後、幕府はポルトガル船の来航を禁止し、オランダ商館を平戸から長崎の出島に移しました。いわゆる「鎖国」の完成です。

1685 ^{しょうるいあわれ}生類憐みの令 ¹⁶⁸⁵いぬは5代のお気に入り

「ぬ」は「6」にはなりません、わかりやすさ優先のゴロということでご容赦ください。
5代将軍^{つなよし}徳川綱吉は「生類憐みの令」によって、犬に限らず、人間も含めた多くの生き物を大切にするように命じましたが、行き過ぎた動物愛護の精神は人々の反感をかったようです。
1685年ではなく1687年とする説も有力で、いずれにせよ年号そのものが問われることはありませんので、17世紀後半が綱吉の時代（「^{げんろく}元禄時代」）だと覚えておくだけでも十分です。（関連問題：知識編81）

1783 浅間山の噴火

1783
人のなやみは浅間山

浅間山の噴火自体の年号が問われることはありませんが、この年は江戸時代に最も多くの人々が亡くなったと考えられている「天明の大ききん」の2年目にあたります。

この大ききんの中、当時の老中、田沼意次たぬまおきつぐに対する不満が高まり、数年後、田沼は失脚しつぎやくすることになりました。

この年号の前までが田沼意次の時代で、その少し後（1787）が松平定信まつだいらさだのぶの時代（「寛政の改革」かんせい）だと覚えておきましょう。

（関連問題：知識編 84）

1825 外国船打払令

1825
いやに強引、打払い

1792年にロシア人ラクスマンが根室ねむろを訪れたり、1808年にイギリス船フェートン号が長崎でもめごとを起こしたりする中、幕府は日本の沿岸に來航した外国船を撃退する法令を作ります。しかし、軍事的に強力なヨーロッパの国々を相手にしたこの強硬策は非常に危険なもので、1842年には廃止されることとなります。

1837 大塩の乱

1837
いやみな平八郎

「天保てんぽうの大ききん」により、人々の幕府への不満が高まる中、1837年、かつて幕府の役人であった大塩平八郎が、大阪で大規模な打ちこわしを起こしました。この少し後（1841年）、老中水野忠邦みずのただくにが「天保の改革」を始めますが、わずか数年で終了、1853年にはいよいよペリーが來航することとなります。この「1837年」と、前に書いた浅間山の噴火の「1783年」を覚えておくだけで、江戸中期の並べ替え問題にはかなり対応できるようになります。

1853 ペリー來航

1853
いやでござんすペリーさん

1854 日米和親條約

ペリー來航（1853）の1年後

1858 日米修好通商條約

日米和親條約（1854）の4年後

1853年、神奈川県かながわの浦賀うらがにペリーが4隻の黒船くろふねとともに來航します。その翌年、「日米和親條約」を結び、下田・函館の2港を開港したことにより、鎖国は終わりを告げ（1854）、さらにその4年後、「日米修好通商條約」を結んだことで、貿易が再開されました（1858）。（関連問題：知識編 85、86）

1866 薩長同盟

大政奉還（1867）の1年前

1867 大政奉還

1867
人はむなしく大政奉還

1868 五箇条の御誓文

大政奉還（1867）の1年後

1867年、江戸幕府15代将軍徳川慶喜が、朝廷に政治を行う権力を返す「大政奉還」を行いました。これにより1603年から約260年続いた江戸時代が、そして、1185年から約680年続いた武士の時代が終わりを告げます。その1年前が、薩摩藩と長州藩が幕府を倒すために手を組んだ「薩長同盟」の年です（1866）。そして、1867年の翌年、1868年（明治元年）、明治政府は「五箇条の御誓文」「五榜の掲示」を出し、明治時代が始まります。

1869 版籍奉還

廃藩置県（1871）の2年前

1871 廃藩置県

1871
藩とは言わない県と言う

「藩」を支配していた「藩主（大名）」をクビにして、新たに明治政府の役人を「県令」として送り込む「廃藩置県」は、明治政府に権力を集めるための政策でした。

とはいえ、藩主は強い権力を持っていたので、簡単にはクビにはできません。そのため、明治政府は、廃藩置県の準備として、藩主に土地と人を天皇に返させる「版籍奉還」を行いました。

まずは廃藩置県の年をゴロで覚えて、版籍奉還はその2年前と覚えておきましょう。

1872 学制発布

1872
いやなにいさん学制発布

鉄道開通

いやなにおいの鉄道開通

1872年は覚えることが多い年です。

6歳以上の子どもを学校に通わせる「学制」には、最初、「子どもは貴重な労働力である」という理由で反対する人が多かったといわれています。

新橋駅と横浜駅を結んだ蒸気機関車は、石炭を燃やす際に煙をたくさん出すので、「いやなにおいの」と覚えます。

ちなみに筆者は機関車が大好きです。あくまで覚え方として参考にしてください。

2014年に世界文化遺産に登録された「富岡製糸場」が操業を開始したのも1872年です。（関連問題：知識編87、発展編55）

1873 地租改正
徴兵令

1873
イヤな3%の地租改正

人はなみだの徴兵令

明治政府による強権的な近代化政策のひとつめのゴールが1873年です。

「地租改正」では、それまで主に米で集めていた税を、現金で集めることとし、明治政府は安定的に税金を得られるようになりました。土地の値段の3%を納めたので「イヤな3%の」と覚えます。

「徴兵令」は、抽選で選ばれた20歳以上の男子が3年間、軍に入る制度で、これにより近代的な軍が作られていきました。

(関連問題：知識編88)

1874 民撰議院設立の建白書

(1) 874
— はなしあおうよ、民撰議院

1874年、板垣退助らが、「民撰議院設立の建白書」と呼ばれる文章を発表し、国民によって選ばれた代表者による議論の場（今の国会）を作ろう、という運動を起こしました。

このあたりから本格化する、国会の解説や憲法の制定などを求める大きなうねりを「自由民権運動」と呼びます。

1877 西南戦争

1877
いやな内乱、西南戦争

徴兵令などに大きな不満をもった士族たちは、いくつか反乱を起こしましたが、その中でも最大のものが、薩摩の士族たちが西郷隆盛とともに起こした「西南戦争」でした。

この反乱を、徴兵令によって作られた明治政府軍が鎮圧したことで、士族による明治政府への反乱はほぼ無くなりました。

1881 国会開設の詔、自由党

1881
10年はやいぞ国会は

1882 立憲改進黨

国会開設の詔（1881）の翌年

自由民権運動が盛り上がりを見せる中、明治政府は、1881年、約10年かけて準備をし、1890年に国会を開設することを約束しました。この約束を受けて、政治に関して同じ考えを持つ人々の集まりである「政党」が作られていきます。

同じ年、板垣退助は「自由党」を作り、翌年、大隈重信は「立憲改進黨」を作りました。

- 1885 ^{ないかくせいどほつそく} 内閣制度発足 ノルマントン号事件（1886）の前年、もしくは国会開設（1890年）の5年前
- 1886 ノルマントン号事件 ¹⁸⁸⁶ 人ははむかう白人に
 1886年、紀伊半島沖でイギリス船ノルマントン号が沈没し、25人の日本人乗客が全員死亡しました。
 イギリス人領事による裁判により、イギリス人船長がほぼ罪に問われなかったため、日本国内では条約改正、特に「領事裁判権」の撤廃を求める声が強くなりました。
- 1889 ^{だいにっぽんていこくけんぽう} 大日本帝国憲法 ¹⁸⁸⁹ いちはやく、アジアでできた帝国憲法
 1890 国会開設 大日本帝国憲法発布（1889）の翌年
 1889年に、プロシア（現在のドイツ）の憲法を参考にして作られた「大日本帝国憲法」が発布されました。
 君主（天皇）の権力が強い憲法でした。
 その翌年には、第1回衆議院選挙が実施され、帝国議会（国会）が開設されました。（関連問題：知識編 89、90、思考編 56）
- 1894 ^{にっしん} 日清戦争 ¹⁸⁹⁴ いっぱい食うよ日清ラーメン
 1895 ^{しものせき} 下関条約 日清戦争（1894）の翌年
 1894年、「領事裁判権」の撤廃に成功した日本は、清（当時の中国）との戦争を始めます。
 1年で勝利した日本は、「下関条約」を結び、初めての植民地として、台湾などを手に入れました。
 このあとに続く「日露戦争」と「第一次世界大戦」の年は、すべてこの1894を基準に覚えますので、まずはこの年をしっかりと覚えてください。（関連問題：知識編 91）
- 1901 ^{やはたせいてつじょ} 八幡製鉄所 ^{20世紀は八幡から}
 1902 ^{にちえいどうめい} 日英同盟 八幡製鉄所の翌年
 ゴロ合わせにはなっていませんが、これで「八幡製鉄所」の操業開始が1901年だと覚えましょう。
 武器を作るのに必要な「鉄」を作るための工場でした。
 翌年、1902年には、ロシアと仲が悪いイギリスと同盟を結びます。
 いずれも、「三国干渉」で日本に悔しい思いをさせたロシアと戦うための準備でしたので、セットで覚えておきましょう。

1904 日露戦争
1905 ポーツマス条約

日清戦争（1894）+10

日露戦争（1904）の翌年

「日清戦争」が起きた 1894 年に 10 を足すと「日露戦争」の年になります。

日本海海戦でロシアのバルチック艦隊を破ったりもしましたが、ロシア相手の戦争を長期間続けるのは難しく、翌年、1905 年、アメリカのセオドアニルズベルト大統領の仲立ちのもと、「ポーツマス条約」を結び、戦争は終わります。

日本は形式的には勝利しましたが、通常、敗戦国が戦勝国に支払う賠償金は発生しませんでした。（関連問題：知識編 92）

1910 韓国併合

1910 韓国行く と 植民地

1911 関税自主権の回復

韓国併合（1910）の翌年

1910 年、日本は朝鮮半島（大韓帝国）を植民地化しました。

中学入試において、年号そのものが問われることはまれですが、この年だけは頻繁に問う学校があります。

テスト対策としては、石川啄木の

「地図の上 朝鮮国に くらぐろと 墨をぬりつつ 秋風を聴く」

という和歌を見て、すぐに「韓国併合」と反応できるようにしておく必要もあります。

その翌年、1911 年、外務大臣小村寿太郎が「関税自主権の回復」に成功したあと、明治時代は終わりを告げ、1912 年から大正時代が始まります。

1914 第一次世界大戦

日露戦争（1904）+10

1915 二十一か条の要求

1914 の翌年

日露戦争が起きた 1904 年に 10 を足すと「第一次世界大戦」が始まった年になります。

「サラエボ事件」をきっかけとしたこの戦争の舞台は主にヨーロッパでしたが、この戦争に参加し、利益を得たいと考えた日本は、

日英同盟を口実にして、中国の山東半島にいたドイツ軍を攻撃。

その後、中華民国政府に対して「二十一か条の要求」を突き付けます（1915）。 （関連問題：思考編 57）

- 1917 ロシア革命 1917
特異な革命、ロシア革命
- 1918 シベリア出兵、米騒動、^{はらたかし}原敬 1918 の翌年
第一次世界大戦中の1917年、社会主義者たちが革命を起こし、ロシアが滅びます。
社会主義革命が広がることを恐れたアメリカやイギリス、そして日本は、ロシアの東部、シベリアに軍を送ります（「シベリア出兵」）。
シベリアへ行く兵隊さんたち用に、米がたくさん必要になると考えた米屋により米の価格が上げられた結果、富山の主婦たちが米の安売りを求める運動（「米騒動」）を起こします。
この運動が全国に広がり、当時の寺内正毅内閣は退陣、「初の本格的な政党内閣」である^{てらうちまさたけ}原敬内閣が誕生します。
（関連問題：知識編 93）
- 1919 ベルサイユ条約 1919
行く行くパリへ、ベルサイユ
- 1920 ^{こくさいれんめいほっすく}国際連盟発足 1920 の翌年
1919年、フランスの首都パリで、第一次世界大戦の講和会議が開かれ、ベルサイユ条約が結ばれます。
このとき会議に参加していたアメリカ大統領ウィルソンの提案で、翌年、第一次世界大戦のような戦争を二度と起こさないために、世界の国々が話し合う場、「国際連盟」が作られます（1920）。
（関連問題：知識編 94）
- 1923 ^{かんとうだいしんさい}関東大震災 1923
しかばねを、いくつ見たか大震災
「しかばね」とは死体のことです。
1923年9月1日、関東地方をマグニチュード7.9の地震が襲います。
多くの家が昼食の準備をしていた時間帯に起きたため、火事が広がり、死者・行方不明者が10万人をこえる大災害となりました。
緊急時の情報の重要性が認識されたこともあり、2年後の1925年には「ラジオ放送」が始まりました。

1925 ^{ふつうせんきょほう、ちあんいじほう} 普通選挙法、治安維持法 (19) ²⁵ 25歳の普通選挙

1925年^{かとうたかあき}加藤高明内閣のもと「普通選挙法」が制定され、「25歳以上のすべての男子」が選挙権を手に入れることになりました。納税額による制限はなくなりましたが、女性の参政権は認められませんでした。

「アメとムチ」というわけではありませんが、同年、社会主義者を取り締まるための「治安維持法」も制定されました。「精神の自由」を侵害する「悪法」でした。

1929 ^{きょうこう} 世界恐慌 ¹⁹²⁹ ひどくぶくらむ世界恐慌

1931 ^{まんしゅうじへん} 満州事変 ¹⁹³¹ いくさ、いざ満州へ

1929年、アメリカから始まった世界恐慌により、日本も不況の時代を迎えます。周辺の国々との結びつきも弱く、資源も不足しがちだった日本は、中国の東北部、満州を手に入れることで、この危機を乗り越えようとしています。

その結果、1931年から1945年まで、日本は15年間続く長い戦争を戦うことになりました。

1931年の^{りゅうじょうじ}「柳条湖事件」から始まった、満州における軍事行動全体を「満州事変」と呼びます。

1932 ^{ごいちご} 五・一五事件 ¹⁹³² いくさに向かう五・一五

1933 ^{こくさいれんめいだつたい} 国際連盟脱退 ¹⁹³³ 行く行くさっさと国連脱退

1936 ^{ににろく} 二・二六事件 ¹⁹³⁶ ひどくさむいよ二・二六

1932年、日本は満州を中国から独立させ、自分たちの言うことを聞く「満州国」としました。

この^{いぬかいつよし}軍部の強引な進め方に反発した大養毅首相が海軍の青年将校たちに殺されたのが「五・一五事件」です。

さらに、この満州国は、国際的にも批判を浴びたため、翌年、日本は国際連盟を脱退してしまいます（1933）。

1936年には、2月26日の吹雪の夜、陸軍が東京に出動し、大臣たちを死傷させたため、いよいよ戦争を進める軍部に逆らえる人がほとんどいなくなっていました。これが「二・二六事件」です（1936）。

1937 日中戦争

1937
いくさながびく日中戦争

1938 国家総動員法

日中戦争開戦（1937）の翌年

1937年、日本は中国と正式に（「事変」ではなく）「戦争」状態に入ります。

当時の近衛文麿首相は、この戦争はすぐに終わるだろうと考えていたようですが、結果として戦争は長引き、日本は資源の不足に苦しむようになりました。

その結果、軍部は「国家総動員法」を制定。議会の許可がなくても、国民を戦争に協力させられる体制を作りました（1938）。

1939 第二次世界大戦

1939
いくさ苦しむ第二次大戦

1940 日独伊三国同盟

第二次世界大戦がはじまった年（1939）の翌年

1941 太平洋戦争

日独伊三国同盟（1940）の翌年

1939年、ドイツがポーランドに侵攻したことにより、「第二次世界大戦」が始まります。

日本は、ドイツ、イタリアとともに「同盟国」として、イギリスやフランス、そしてアメリカといった「連合国」と対立することになります。

1941年12月8日、日本がハワイの真珠湾を攻撃したことで、ついに太平洋を舞台にしたアメリカとの戦争「太平洋戦争」が始まります。

1945 敗戦

1945
ひどく汚れて戦争終わる

2発の原子爆弾を落とされ、放射線で汚染された日本を表現したゴロですが、1945年は日本の歴史において非常に重要な意味を持つ年ですので、できればゴロに頼らず数字そのものをしっかり覚えてほしいと思います。

2月「ヤルタ会談」、3月10日「東京大空襲」、4月から6月にかけての「沖縄戦」、7月「ポツダム会談」、8月6日「広島原爆」、8月8日「ソ連参戦」、8月9日「長崎原爆」、8月14日「ポツダム宣言受諾」、そして8月15日は「玉音放送」と、覚えることが非常に多い1年です。

1950 朝鮮戦争 (19) 50
— — 号令かけて朝鮮戦争

1951 サンフランシスコ平和条約 朝鮮戦争（1950）の翌年

1950年、朝鮮半島で戦争が始まったことで、日本には「朝鮮特需」「警察予備隊の発足」という大きな変化が訪れます。翌年1951年、「サンフランシスコ平和条約」を結び、日本と連合国は正式に講和しました。

しかし同時に「日米安全保障条約」も結ばれ、G H Qによる占領は終わったものの、米軍は引き続き日本に残ることになりました。（関連問題：発展編59）

1956 日ソ共同宣言 1956
そろそろソ連に行くころだ

鳩山一郎首相がソ連との国交を回復します。

その結果として、同じ1956年、日本は「国際連合」に復帰することができました。

1964 東京オリンピック、東海道新幹線開通 1964
特急無視して新幹線

10月1日、「東海道新幹線」が東京—新大阪間で開通しました。

同じ年の10月10日には、アジアで初めてのオリンピック「東京オリンピック」が開催されます。

1950年代後半から始まった「高度経済成長期」まっただ中の、華やかな年でした。（関連問題：知識編98）

1965 日韓基本条約 日ソ共同宣言（「そろそろソ連に行くころだ」）の逆（56→65）

なかなか良いゴロ合わせが無い年です。

中学入試においては、1951年に「サンフランシスコ平和条約」を結んだ際、講和できなかった3つの国との国交を回復したタイミングを覚える必要があります。

「日ソ共同宣言」と「日韓基本条約」、そして「日中共同声明」ですが、ひとまず、最初の2つの年号はセットで覚えておきましょう。

1972 沖縄復帰

1972
行くなら2人で沖縄・中国

1972 日中共同声明

1972年5月、沖縄がアメリカから日本に復帰しました。

佐藤栄作首相最後の大事な仕事です。

その後、同じ年の9月、田中角栄首相のもと、日本は中華人民共和国との国交を回復しました。(関連問題：知識編 99)

1973 第一次石油危機

(19) 73-79
— — なみだなくして石油危機

1973年、「第四次中東戦争」の影響を受けて、石油の価格が大幅に上昇する「第一次石油危機」が起こり、50年代後半から続いていた「高度経済成長期」が終わりを告げます。

1979年には「イラン革命」の影響を受けて、再び石油の価格が上昇する「第二次石油危機」が起こりました。

(関連問題：知識編 100、発展編 60)